

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020340

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10	地域福祉の推進	事業優先度	B		
単位施策	1	福祉意識の醸成	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	紋別地区保護司会雄武支部運営補助事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	団体の安定運営					
事業目標	運営費補助					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	5 保健福祉課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	地域住民の理解と協力のもとに、犯罪や非行の防止、又は犯罪を犯した人の自立更生を支えるための活動を支援するとともに、紋別地区保護司会雄武支部の活動促進を図るため、運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。
	事業費(千円)	150	30	30	30	30
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	150	30	30	30	30	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	120	30	30	30	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	120	30	30	30	30	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 紋別地区保護司会雄武支部の活生化を図るための運営補助保護司 4名	(実施内容等) 紋別地区保護司会雄武支部の活生化を図るための運営補助保護司 4名	(実施内容等) 紋別地区保護司会雄武支部の活生化を図るための運営補助保護司 3名	(実施内容等) 紋別地区保護司会雄武支部の活生化を図るための運営補助保護司 3名	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 運営費補助	年度目標値 運営費補助	年度目標値 運営費補助	年度目標値 運営費補助	年度目標値 運営費補助
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 0%
	全体達成率 20%	全体達成率 40%	全体達成率 60%	全体達成率 80%	全体達成率 80%	
	備考欄					

事業名	紋別地区保護司会雄武支部運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	西方 苗

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	紋別地区保護司会雄武支部	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	運営補助金の交付	
【抱える課題やニーズは】	社会不安が増加する中、犯罪や非行の防止、罪を犯した人の自立更生を支えるための活動支援が益々重要となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	事業運営基盤の安定を図るとともに非行や犯罪のない明るい社会を目指す。	① 交付実績	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	犯罪や非行の減少と自立更生に向けた支援体制が確立される。		目標値	30千円
			実績値	30千円
		②	達成度	100.0%
			目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	紋別地区保護司会雄武支部へ運営費の補助金を交付した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民の理解と協力のもとに、犯罪や非行の防止、または罪を犯した人の自立更生を支える活動を支援するためにも、補助の必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで、紋別地区保護司会雄武支部の活動が促進された。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町の補助は、紋別支部保護司会雄武支部の基盤の安定を図るため必要であるが最小限度となるよう努めている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	保護司活動は広く地域住民を対象とした活動であることから、運営費の補助は公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
犯罪や非行の防止、又は罪を犯した人の自立更生を支えるための活動を支援するために保護司活動は重要であり、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
現在の社会情勢において、犯罪も多様化しており、犯罪や非行の未然防止、又は罪を犯した人への自立更生を支えるためにも、支部活動のスムーズな運営が促進されるよう、継続実施することが必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止